

令和2年度 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

家庭配布数 142世帯 回収数 103世帯 回収率 72.5%

No.1

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	子どもの活動等スペースが十分に確保されているか	96	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの部屋の他にホールまであって充実している。活動スペースも十分。 ・ホールにある設備、器具(トランポリンなど)はとても良いと思う。 ・職員数や専門性は十分に保っていると思う。 ・クラス配置(人数)は適性かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準に準じた適切なスペースになっています。 ・怪我のないよう活動の内容を工夫したり安全に活動に集中して取り組める環境、用具や玩具の配置に配慮していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	90	5	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども5人に対して2人の先生がついてくれるので常に目が行き届いてありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準に準じた適切な職員配置となっています。今後もお子さんの状況に応じて職員の支援体制をとるよう、また、支援内容についても職員間の連携を図り、向上に努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境 i になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	93	6	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ教室にいるよりも移動があるのが良いと思う。 ・「教室」「ホール」「トイレ」とメリハリがついているので子どもも次に何をやるかの心の準備ができてよいと思う。 ・廊下が少し暗いので子どもが怖がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの状況に合わせた環境設定を行っています。 ・療育室扉窓(マジックミラー)より参観いただいています。そのため廊下の照明を暗くしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	101	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全性が確保されていると思う。 ・いつも清潔で心地よく過ごせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃と玩具や遊具については消毒液での清拭や水洗いを行い、清潔を保っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	94	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にその時に応じた子どもの様子を見ながら作成していただいている。 ・定期的に話を聞いてくださりフォローアップもしていただいているのでありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールを使用し、お子さんの発達評価や保護者ニーズを踏まえた個別支援計画を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	87	6	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに必要な支援を一人一人詳細に説明してくれるとよいと感じた。 ・「児童発達支援ガイドライン」の内容を見てないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童発達支援ガイドライン」を所内2か所に設置しているほか、厚生労働省ホームページの案内もしています。 ・個別支援計画について面談時、詳細に説明するよう努めてまいります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	91	8	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもしっかり行われていて、少しずつ成長してうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画に沿った支援を継続して行っています。
	⑧	活動プログラム iii が固定化されていないよう工夫されているか	80	13	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月内容が変わり、いろいろな事が体験できてよいと思う。 ・机上や運動が毎月毎週レベルアップしたり、マンネリ化しないように工夫されたプログラムになっている。 ・毎月プログラムは変わるけれど変化に乏しい。家庭で試してみてもたんぼぼでならやる、ということがあるかもしれないので試してほしい。 ・子どもの反応を見て柔軟に対応していると思う。 ・家では考えもつかないことをいろいろさせてもらえるので本人も楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にプログラムの見直しを行い、発達段階を踏まえたスモールステップでの活動プログラムにしています。 ・ご家族から伺った内容についても可能な範囲で活動に取り入れ、お子さんの状況を見ながら柔軟な対応に努めていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	38	15	18	31	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は幼稚園に通っているので普段からその機会はある。 ・保育園に在籍している。 ・たんぼぼセンターでは他の園との交流はない。 ・こちらが相談して希望すれば園へ様子を見に来てもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本センターは保育園や幼稚園などに在籍しているお子さんが多いので、特に交流の機会は設けていません。 ・ふれあい館や広場等の交流できる施設紹介を行っていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	87	8	6	2		・今後も丁寧な説明を行うよう努めていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	95	4	0	4	・定期的にしっかりと話し合った事を作成していただき、説明もしていただいている。 ・入所初日の面接で説明していただいた。	・支援利用開始前に「児童発達支援ガイドライン」について丁寧な説明に努めるとともに、定期的に個別支援計画についても説明を行っています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	58	21	9	15	・プリントでお知らせが来るようになったが、希望しないとプログラムに参加できない。 ・平日で全く参加できない。 ・家族への支援プログラムについてはよくわからない。 ・家庭での取り組み、声掛けについて具体的なアドバイスが少ない。 ・活動中に「こうしたら良いかも」と先生にアドバイスをいただいている。 ・ペアトレは体調不良でなかなか参加できなかったが、フォローしていただきありがたかった。子への接し方が変わり、自己も客観的に見れるようになった。	・ペアレントトレーニングなど多人数では実施困難な講座については、少人数で開催しています。 ・家族支援講座、発達障害講演会などは開催内容、開催日時等についても検討し、多くの方に参加していただけるよう努めていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	93	8	2	0	・毎回担当の先生がお話の時間を設けてくれるので小さいことや気になることを共有、相談できて安心である。 ・毎回活動後に内容や出来たこと、出来なかったことをしっかり伝えていただいている。不安なことや心配なことも伝えていただけて勇気づけていただけてとても感謝している。 ・発達状況、課題については一方的な説明になっているように感じる。 ・丁寧に見ていただき毎回の様子を教えてもらって先生には感謝している。	・支援終了後、個別にフィードバックを行い、共通理解を図っています。日頃より、質問など聞きたいことが話せる雰囲気づくりに努めていきます。 ・移動支援を利用しているご家庭には月1回の面談日を設け、お子さんの状況の共通理解に努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	91	9	3	0	・面談の回数を増やしてもよいのかと思う。 ・もっと面談の機会があると嬉しい。 ・通所の際にすぐ相談できてアドバイスもいただき大変ありがたい。 ・頂いたアドバイスを家庭での教育の参考にさせていただいている。 ・面談ではいろいろな話を聞いていただきとても助かっている。 ・先生の率直な意見がもっと欲しい。	・定期的に面談を行っています。保護者からの相談や申し入れには迅速かつ適切に対応しています。面談等ご希望を話しやすいよう心掛けていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	22	26	37	・保護者会はなかったが特に必要だとも感じない。 ・1、2年目は保護者同士の交流会があったが、翌年はなかった。コロナなので仕方ない。 ・時間内などはほかの保護者とのコミュニケーションはとれている。 ・他の保護者の方にほぼお会いする機会がない。 ・平日に開催されても参加できない。 ・今年はなかったが、小学生になった保護者のお話を聞ける機会を作ってくださいのがあるのでありがたい。	・2年度はコロナ禍のため通常5～6月に行う就学した保護者さまとの交流会開催はやむを得ず中止としました。 ・当センターに父母の会はありませんが、フィードバックの時間などを利用して保護者間の連携に努めていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	78	7	6	8	・とても親身に素早く対応してくださり、感謝している。クラスの先生のみならずセンターの皆さんやさしく親切でありたい。 ・いつでも相談できる体制になってとても良い。 ・常に込み合っていて発達検査をしてもらえない。 ・相談をしたことがないので分からない。	・保護者からの相談や申し入れには迅速かつ適切に対応しています。引き続き体制を整え、対応していくよう努めていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	84	7	3	5	・いつでも相談できる体制になってとても良い。 ・毎回詳しくフィードバックしてくださり分かりやすく助かる。	・情報伝達については利用日や休日等、書面にてお伝えしていきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	64	9	8	19	・毎月のやることを配っていただけたら嬉しい。ST通信がとてもよい。 ・廊下の掲示物で済ませるのをやめて、個々に配布かホームページに載せてほしい。	・必要に応じて書面にて伝えていくよう努めていきます。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	86	7	0	7	・室内の内側にある氏名等、個人情報は掲示する前に保護者に理由の説明と同意を求めるべき。	・個人情報は、細心の注意をもって取り扱っていきます。必要な場合は説明と同意を得られるよう努めてまいります。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	60	14	5	21	・入所時に色々説明は受けましたが、訓練に参加したことはない。	・マニュアルを作成し、なるべく曜日、時間が異なるようにして、定期的に訓練を行っています。また、緊急時の対応について保護者の方への周知に努めていきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	51	14	6	29	・全曜日、4月にやってほしい。 ・避難訓練が行われていてよいと思う。	・年間訓練計画を立て、職員が災害発生時に対応できるよう、いろいろな場合を想定しながら月に1度、訓練を行い備えています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	89	9	1	0	・お友だちも先生も大好きで楽しみにしている。 ・楽しく通所できて親も嬉しい。 ・たまに行きたくないと言ったりする。 ・就学のため3月で終了してしまうことをすごく残念に思っているようだ。 ・毎週とても楽しみに通っている。色々な活動ができて楽しいようだ。 ・通所の日が近づくと「明後日？」「明日？」と楽しみにしている。 ・保育園とは違う先生、友だちでも安心でき、親しみやすく楽しいようだ。 ・「たんぼぼいく？」と聞くと満面の笑みで「ウンウン」とうなづいている。	・お子さんが楽しく通えるよう、さらに支援内容の工夫に努めていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	89	6	3	1	・週1回は少ないかなと感じる。日数を増やしてもらいたい。 ・言葉も話せるようになり非常に満足している。 ・とても良い先生に巡り合えたと思っている。 ・先生方が子どもに合わせて接してくださり、様々な活動を行ってくださり、フィードバックも細かく行ってくださるので大変満足している。 ・いつも心強いサポートをくださり、安心してお任せしている。 ・全体発達の他、言語や作業療法等、多岐にわたり支援いただきありがたい。 ・児童発達支援について全く情報が足りていない。 ・言語の発達のために通っているのに一度も言語聴覚士にみてもらっていない。 ・発達の進みが遅い子どもこそプラスでの療育を受けられる体制を整えてほしい。	・教室数、職員数などで受け入れ体制を広げることは現状では困難ですが、センターでの事業に対しご満足いただけるよう職員が研修会、講座などへ参加し、支援の質の向上に努めるとともに、事業内容の充実にも努めてまいります。 ・情報提供等についても発信に努めていきます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのか示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるため課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。